

2009年3月期 決算説明会

2009年5月11日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

AGENDA

第1部 2009年3月期決算概況、および 2010年3月期業績見通しについて

常務取締役
上原 伸夫

第2部 2010年3月期経営方針について

代表取締役社長
水野 紘一

I. 2009年3月期 決算概況

常務取締役
上原 伸夫

1. 2009年3月期 決算サマリ

【前期比】 売上高は前期比21億円の減収となるも、原価低減により売上総利益が改善。販管費を前年並みに抑制した結果、営業利益の減益幅は2億円。

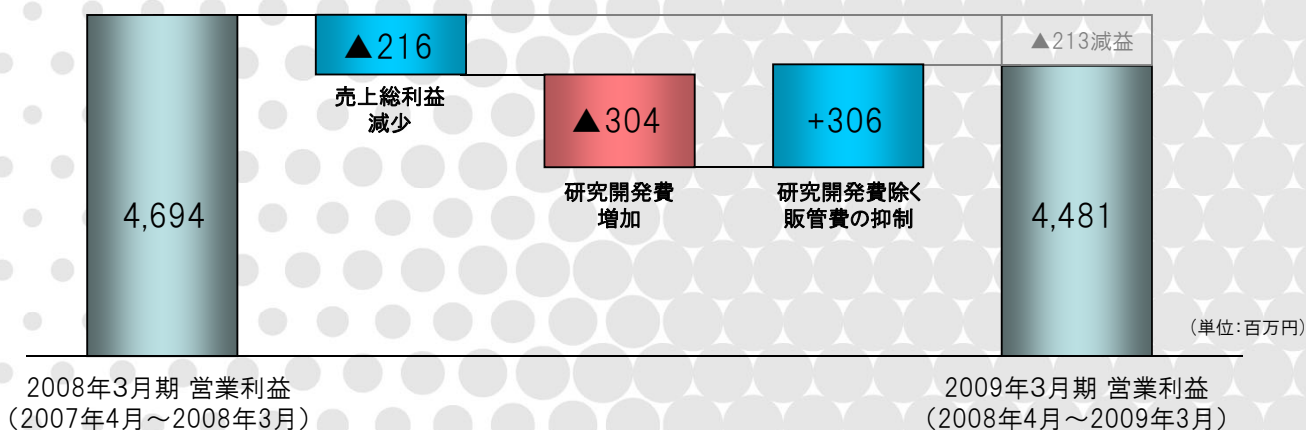
【予想比】 売上高は2/10発表値を若干上回る。売上原価および販管費を抑制した結果、営業利益・経常利益・当期純利益は2/10発表予想を大きく上回った。

(百万円)

	09年3月期	前期との比較			2/10発表予想値との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	75,148	77,311	▲2,163	▲2.8%	74,850	+298	+0.4%
売上総利益	23,396	23,612	▲216	▲0.9%	22,579	+817	+3.6%
売上総利益率	31.1%	30.5%	+0.6pts	—	30.2%	+1.0pts	—
販管費及び一般管理費	18,915	18,917	▲2	▲0.0%	19,039	▲124	▲0.7%
営業利益	4,481	4,694	▲213	▲4.5%	3,540	+941	+26.6%
営業利益率	6.0%	6.1%	▲0.1pts	—	4.7%	+1.3pts	—
経常利益	4,628	4,974	▲346	▲7.0%	3,650	+978	+26.8%
当期純利益	1,357	2,275	▲918	▲40.4%	800	+557	+69.6%

2. 営業利益の増減要因(連結・前期比)

- 【売上総利益】 売上高約21億円減収も、原価低減に努め、売上総利益は約2億円の減益
 【販管費】 研究開発費が+304百万円増加するも、研究開発費を除く販管費は、技術者の有償稼働率の向上、不要不急の経費削減等により、▲306百万円抑制
 【営業利益】 結果、営業利益は▲213百万円の減益



3. 1 業種別売上高 <金融業>

単位: 百万円

前期	09年3月期	増減率
24,497	24,565	+0.3%

- ✓ 大手金融機関のシステム統合、政府系金融機関向け基幹業務システム、大手銀行向けインターネットバンキングシステムなどを中心に、受託システム開発は前期並み
- ✓ 日銀ネット即時グロス決済に対応した「流動性管理システム」、地域金融機関向け融資業務支援システム「RiskTaker」、金融機関向けコールセンターシステム「e-MARKETBRAIN」など ソフトウェア製品ライセンスや アドオン開発・導入技術支援は好調
- ✓ 一方、海外子会社の売上が減少したことにより、全体ではほぼ前期並み

3. 2 業種別売上高 <製造業>

単位:百万円

前期	09年3月期	増減率
28,994	28,929	▲0.2%

✓ 製品設計開発分野においては、解析ソフトウェア等の販売が減少となったものの、ソフトウェアの導入や活用支援などの技術支援サービス、解析業務を受託するアウトソーシング・運用保守サービス、製造業向けプロジェクト管理システム「Q-style」などソフトウェア製品の販売が拡大

✓ 基幹業務の分野では、ERPシステムのソフトウェア商品アドオン開発、および導入技術支援サービスが前年並みで推移

3. 3 業種別売上高 <サービス業>

単位:百万円

前期	09年3月期	増減率
15,502	13,433	▲13.3%

✓ 主要顧客の情報システムの運用等を請け負うアウトソーシング・運用サービスが前期比大幅増となるも、IT投資抑制の影響を受け、受託システム開発、情報機器販売を中心に大きく減少した

3. 4 業種別売上高 <流通業・その他>

単位:百万円

前期	09年3月期	増減率
8,316	8,220	▲1.2%

✓ 主要顧客に対する基幹業務(ERP)システムのアドオン開発、顧客管理(CRM)システムの受託システム開発などが拡大

✓ 前年に主要顧客において大型のインフラ更改案件があったため、ほぼ前年並み

4. サービス品目別売上高

- ✓ 注力分野であるソフトウェア製品、アウトソーシング・運用保守サービスが大幅増収
- ✓ ソフトウェア製品は、「流動性管理システム」「RiskTaker」「Q-style」「e-MARKETBRAIN」、人事管理パッケージシステム「POSITIVE」、基幹業務システムと連携するフレームワーク「BusinessSPECTRE(ビジネススペクトル)」等が好調
- ✓ アウトソーシング・運用保守サービスは、製造業向け業務受託サービス、ならびにサービス業の主要顧客向け運用保守サービスが拡大

(百万円)

	09年3月期	前期との比較		修正予想(2/10発表)との比較	
		08年3月期	増減率	予想	増減率
コンサルティングサービス	3,770	3,622	+4.1%	3,535	+6.6%
受託システム開発	22,443	24,084	▲6.8%	22,472	▲0.1%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	9,782	9,023	+8.4%	10,057	▲2.7%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	25,222	26,241	▲3.9%	24,922	+1.2%
アウトソーシング・運用保守サービス	5,938	5,136	+15.6%	5,939	+0.0%
情報機器販売・その他	7,990	9,203	▲13.2%	7,922	+0.9%
合計	75,148	77,311	▲2.8%	74,850	+0.4%

※コンサルティングサービスの売上にはエステックの決算期変更が影響しており、実質減収

5. 連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2008年4月～ 2009年3月	2007年4月～ 2008年3月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	9,663	5,458	+4,205
投資活動による キャッシュ・フロー	▲6,340	▲2,546	▲3,794
財務活動による キャッシュ・フロー	▲2,208	▲653	▲1,555
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲92	▲148	+56
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	1,020	2,110	▲1,090
現金及び現金同等物の 期首残高	13,153	11,042	+2,111
現金及び現金同等物の 期末残高	14,174	13,153	+1,020

今期の投資活動の主なもの

- ◆有形固定資産取得 ▲28億円
(データセンター取得 ▲23億円)
(実験場取得 ▲3億円)
- ◆無形固定資産取得 ▲30億円
(社内システム ▲25億円)
(ソフトウェア製品 ▲5億円)

6. 連結貸借対照表

(百万円)

	2009年 3月31日	2008年 3月31日	増減
流動資産	34,293	40,070	▲5,777
固定資産	18,945	12,854	+6,091
資産合計	53,239	52,925	+314
流動負債	17,126	19,164	▲2,038
固定負債	1,942	219	+1,723
負債合計	19,068	19,384	▲316
純資産合計	34,170	33,541	+629
負債純資産合計	53,239	52,925	+314

増減の主な要因

- 売掛債権の減少 ▲53億円
- たな卸資産の減少 ▲14億円
- 現金及び預金の増加 +11億円

- 新リース会計基準適用に
よるリース資産の増加 +29億円
- 建物及び土地の増加 +24億円
- ソフトウェアの増加 +17億円
- のれんの減少 ▲13億円

7. ブレイニーワークスの業績

- ✓ 受託システム開発が減少するも、人事管理パッケージ「POSITIVE」、金融機関向けコールセンターシステム「e-MARKETBRAIN」などソフトウェア製品のライセンス販売、およびアドオン開発が拡大し、売上高は前期並みを維持
- ✓ 減益の主要因は、「POSITIVE」「e-MARKETBRAIN」の機能強化等の研究開発費を5.5億円増やしたため

(百万円)

	09年3月期	前期との比較		
		08年3月期	増減額	増減率
売上高	8,379	8,454	▲75	▲0.9%
営業利益	130	653	▲523	—
営業利益率	1.6%	7.7%	▲6.1pts	—
グループ内売上比率	11.1%	13.7%	▲2.6pts	—
従業員数(人)	377	371	+6	—

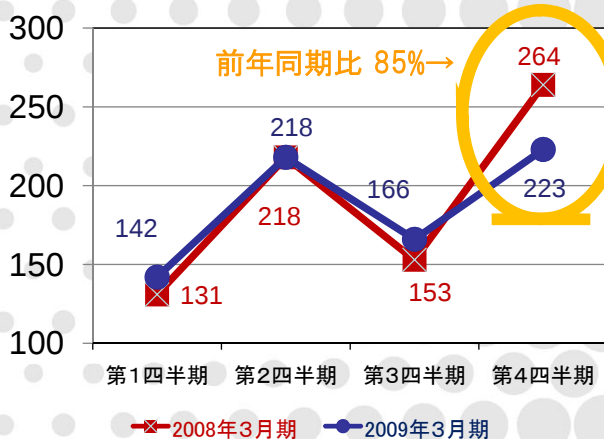


II. 2010年3月期 業績予想

8. 1 2009年3月期 第4四半期の状況

- ✓ 2009年3月期 第3四半期まで、当社グループの過去最高ペースで売上高が推移するも、第4四半期に入り、全ての業種において売上高が急減速
- ✓ この背景にある企業の投資抑制傾向は、2010年3月期も当面継続すると想定

■ 四半期毎の売上高推移 (単位: 億円)



■ 2009年3月期 第4四半期売上高 (単位: 億円)

業種	売上高	前年同期比
金融業	78	82%
製造業	83	96%
サービス業	39	66%
流通業・その他	24	83%

サービス品目	売上高	前年同期比
コンサルティングサービス	13	100%
受託システム開発	70	69%
ソフトウェア製品	34	100%
ソフトウェア商品	69	88%
アウトソーシング・運用保守サービス	16	106%
情報機器販売・その他	21	75%

※製造業向け、およびコンサルティングサービスの売上には、エステックの決算期変更の影響を含む

8. 2 2010年3月期 業績予想

- ✓ 企業のIT投資抑制傾向は当面継続すると考えており、売上高は9.7%減収の予想
- ✓ 売上総利益率は引き続き原価低減に努め、ほぼ前期並みの見通し
- ✓ 各種経費の抑制に努めるも、自社利用ソフトウェアの償却費、研究開発費などが増加することから、販管費が増加し、営業利益は大幅減益の見通し

	(百万円)				(百万円)			
	10年3月期 上期	09年3月期 上期	増減額	増減率	10年3月期 通期	09年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	30,224	36,178	▲5,954	▲16.5%	67,837	75,148	▲7,311	▲9.7%
売上総利益	9,080	10,916	▲1,836	▲16.8%	20,980	23,396	▲2,416	▲10.3%
売上総利益率	30.0%	30.2%	▲0.2pts	—	30.9%	31.1%	▲0.2pts	—
販管費及び一般管理費	10,219	9,746	+473	+4.9%	19,970	18,915	+1,055	+5.6%
営業利益	▲1,138	1,169	▲2,307	—	1,010	4,481	▲3,471	▲77.5%
営業利益率	▲3.8%	3.2%	▲7.0pts	—	1.5%	6.0%	▲4.5pts	—
経常利益	▲1,090	1,235	▲2,325	—	1,092	4,628	▲3,536	▲76.4%
当期利益	▲848	423	▲1,271	—	309	1,357	▲1,048	▲77.2%

8.3 業種別売上高予想

- 【金融業】 主要顧客の中国・アセアン展開が活況も、地銀、証券は投資抑制傾向が強い
- 【製造業】 大手顧客の戦略案件は継続も、投資抑制傾向は当分継続すると予想
- 【サービス業】 主要顧客のIT投資抑制がさらに厳しくなると予想
- 【流通業・他】 基幹業務・人事管理に対するニーズは堅調に推移すると予想

(百万円)					(百万円)			
	10年3月期 上期	前期との比較				10年3月期 通期	前期との比較	
		09年3月期 上期	増減額	増減率			09年3月期 通期	増減額 増減率
金融業	9,040	11,209	▲2,169	▲19.4%		22,956	24,565	▲1,609 ▲6.5%
製造業	11,924	14,180	▲2,256	▲15.9%		24,940	28,929	▲3,989 ▲13.8%
サービス業	5,824	7,089	▲1,265	▲17.8%		11,896	13,433	▲1,537 ▲11.4%
流通業・その他	3,435	3,699	▲264	▲7.1%		8,043	8,220	▲177 ▲2.2%
合計	30,224	36,178	▲5,954	▲16.5%		67,837	75,148	▲7,311 ▲9.7%

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

17

8.4 サービス品目別売上高予想

- ✓ 「ソフトウェア製品」は、R&Dの推進によりラインアップを強化しており、増収を計画
- ✓ 「アウトソーシング・運用サービス」は、主要顧客向けが減少するも、その他は拡大を狙う
- ✓ その他は当面厳しいが、競争力強化のチャンスと捉え、積極的な投資を行う

(百万円)					(百万円)			
	10年3月期 上期	前期との比較				10年3月期 通期	前期との比較	
		09年3月期 上期	増減額	増減率			09年3月期 通期	増減額 増減率
コンサルティングサービス	1,331	1,881	▲550	▲29.2%		3,056	3,770	▲714 ▲18.9%
受託システム開発	8,366	10,399	▲2,033	▲19.5%		20,134	22,443	▲2,309 ▲10.3%
ソフトウェア製品	4,340	4,380	▲40	▲0.9%		10,551	9,782	+769 +7.9%
ソフトウェア商品	10,249	12,690	▲2,441	▲19.2%		21,848	25,222	▲3,374 ▲13.4%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,656	3,161	▲505	▲16.0%		5,425	5,938	▲513 ▲8.6%
情報機器販売・その他	3,280	3,664	▲384	▲10.5%		6,821	7,990	▲1,169 ▲14.6%
合計	30,224	36,178	▲5,954	▲16.5%		67,837	75,148	▲7,311 ▲9.7%

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

18

＜参考資料＞ 2009年3月期個別業績、および 2010年3月期個別業績予想

◆2009年3月期業績＜個別＞

サマリ

(百万円)

	09年3月期	前期との比較			修正予想(2/10発表)との比較		
		08年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	59,485	60,871	▲1,386	▲2.3%	59,300	+185	+0.3%
売上総利益	16,643	16,256	+387	+2.4%	15,783	+860	+5.4%
売上総利益率	28.0%	26.7%	+1.3pts	—	26.6%	+1.4pts	—
販管費及び一般管理費	12,942	12,742	+200	+1.6%	12,783	+159	+1.2%
営業利益	3,700	3,513	+187	+5.3%	3,000	+700	+23.3%
営業利益率	6.2%	5.8%	+0.4pts	—	5.1%	+1.1pts	—
経常利益	4,040	4,004	+36	+0.9%	3,350	+690	+20.6%
当期純利益	976	1,529	▲553	▲36.2%	500	+476	+95.2%

◆ 2009年3月期業績＜個別＞

業種別売上高

(百万円)

	09年3月期	前期との比較	
		08年3月期	増減率
金融業	16,742	16,576	+1.0%
製造業	23,323	22,828	+2.2%
サービス業	12,744	14,838	▲14.1%
流通業・その他	6,674	6,626	+0.7%
合計	59,485	60,871	▲2.3%

◆ 2009年3月期業績＜個別＞

サービス品目別売上高

(百万円)

	09年3月期	前期との比較		修正予想(2/10発表)との比較	
		08年3月期	増減率	予想	増減率
コンサルティングサービス	2,325	2,524	▲7.9%	2,426	▲4.2%
受託システム開発	18,353	19,034	▲3.6%	18,229	+0.7%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	5,229	5,041	+3.7%	5,458	▲4.2%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	22,042	22,443	▲1.8%	21,826	+1.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	5,486	4,641	+18.2%	5,323	+3.1%
情報機器販売・その他	6,048	7,185	▲15.8%	6,036	+0.2%
合計	59,485	60,871	▲2.3%	59,300	+0.3%

◆ 2010年3月期業績予想＜個別＞

サマリ

	10年3月期 上期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 上期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	23,733	28,701	▲4,968	▲17.3%	53,399	59,485	▲6,086	▲10.2%
売上総利益	6,342	7,741	▲1,399	▲18.1%	14,650	16,643	▲1,993	▲12.0%
売上総利益率	26.7%	27.0%	▲0.3pts	—	27.4%	28.0%	▲0.6pts	—
販管費及び一般管理費	7,129	6,640	+489	+7.4%	13,731	12,942	+789	+6.1%
営業利益	▲786	1,101	▲1,887	—	919	3,700	▲2,781	▲75.2%
営業利益率	▲3.3%	3.8%	▲7.1pts	—	1.7%	6.2%	▲4.5pts	—
経常利益	▲495	1,266	▲1,761	—	1,493	4,040	▲2,547	▲63.0%
当期利益	▲378	614	▲992	—	750	976	▲226	▲23.2%

◆ 2010年3月期業績予想＜個別＞

業種別売上高

	10年3月期 上期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 上期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
金融業	5,683	7,353	▲1,670	▲22.7%	15,356	16,742	▲1,386	▲8.3%
製造業	9,778	11,506	▲1,728	▲15.0%	20,503	23,323	▲2,820	▲12.1%
サービス業	5,533	6,795	▲1,262	▲18.6%	11,276	12,744	▲1,468	▲11.5%
流通業・その他	2,738	3,045	▲307	▲10.1%	6,263	6,674	▲411	▲6.2%
合計	23,733	28,701	▲4,968	▲17.3%	53,399	59,485	▲6,086	▲10.2%

◆ 2010年3月期業績予想＜個別＞

サービス品目別売上高

	10年3月期 上期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 上期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,001	1,314	▲313	▲23.8%	2,061	2,325	▲264	▲11.4%
受託システム開発	6,584	8,136	▲1,552	▲19.1%	16,461	18,353	▲1,892	▲10.3%
ソフトウェア製品	2,216	2,430	▲214	▲8.8%	5,735	5,229	+506	+9.7%
ソフトウェア商品	9,104	11,088	▲1,984	▲17.9%	19,438	22,042	▲2,604	▲11.8%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,260	2,927	▲667	▲22.8%	4,631	5,486	▲855	▲15.6%
情報機器販売・その他	2,565	2,804	▲239	▲8.5%	5,070	6,048	▲978	▲16.2%
合計	23,733	28,701	▲4,968	▲17.3%	53,399	59,485	▲6,086	▲10.2%

II.2010年3月期 経営方針について

代表取締役社長
水野 紘一

2009年3月期の取り組み

1

顧客の進化を加速するソリューションの創出

金融業向け

- ・メガバンク海外店システム化支援
- ・市場系次世代システム販売開始
- ・地域金融機関向けブランド「BANK・R」立上

製造業向け (設計開発分野)

- ・ビジネスモデル変革推進
- ・ソフト製品「iPRIME NAVI」開発

広告・メディア向け

- ・ネット広告技術参入(クライアント資本参加)

クロスインダストリー向け

- ・基幹システム、ERP、会計、人事ソリューション Business Solution Series開発
- ・STRAVIS機能向上開発、パイロット導入
- ・POSITIVE機能向上開発推進
- ・その他
検索エンジンソリューションへの参入

2

事業基盤の継続的進化

運用保守 事業強化

- ・データセンタ取得
- ・ISID-AO設立

社内システム構築

- ・2009/4稼働開始
- ・グループ6社共通
- ・業務プロセス標準化・効率化推進

グループ人事制度整備

- ・ITSS準拠の人材ポートフォリオ管理開始
- ・グループ内人材の確保・育成・配置の最適化を実現

3

積極的投資の実行

		(億円)				
		08/3期	計画	実績	前期比	計画比
事業投資	R&D(経費性)	9	19	12	133.3%	63.2%
	R&D(資産性)	10	10	5	50.0%	50.0%
	データセンタ等取得	-	22	26	-	118.2%
	事業投資合計	19	51	43	226.3%	84.3%
社内インフラ		16	27	25	156.3%	92.6%
合計		35	78	68	194.3%	87.2%

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL

事業環境認識および経営方針

事業環境認識

経営方針

足下

- 昨年度下期以降、業種を問わず、顧客企業におけるIT投資抑制傾向は顕著。
- 投資予算縮小、商談の遅延など事業環境は非常に厳しい。

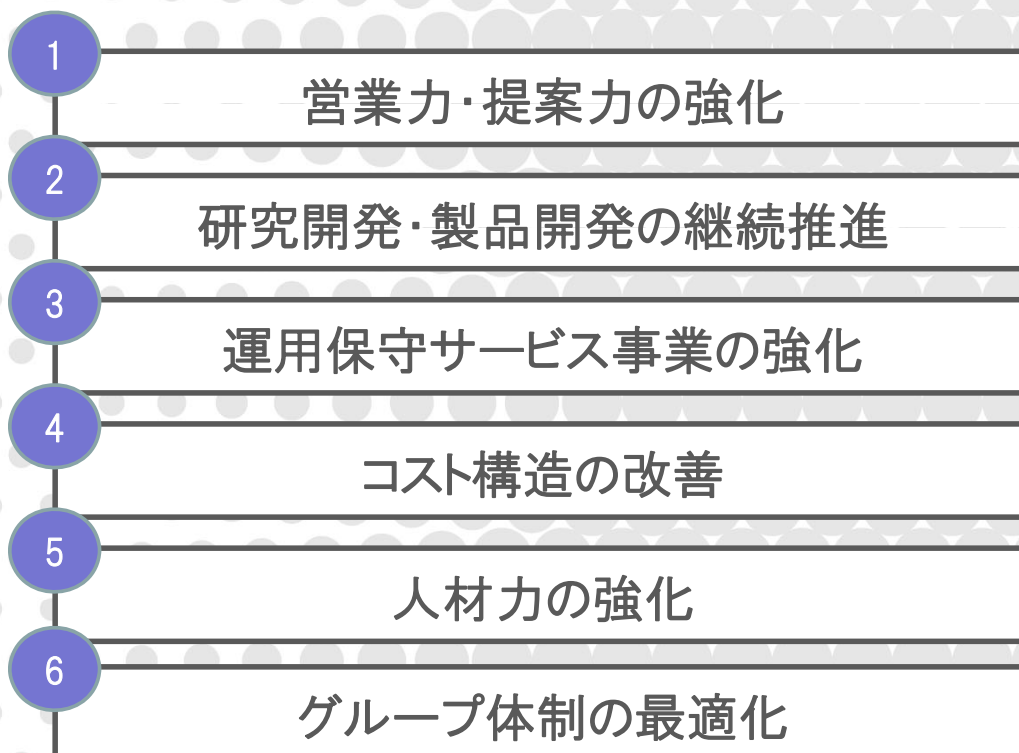
売上高・利益の確保

中期

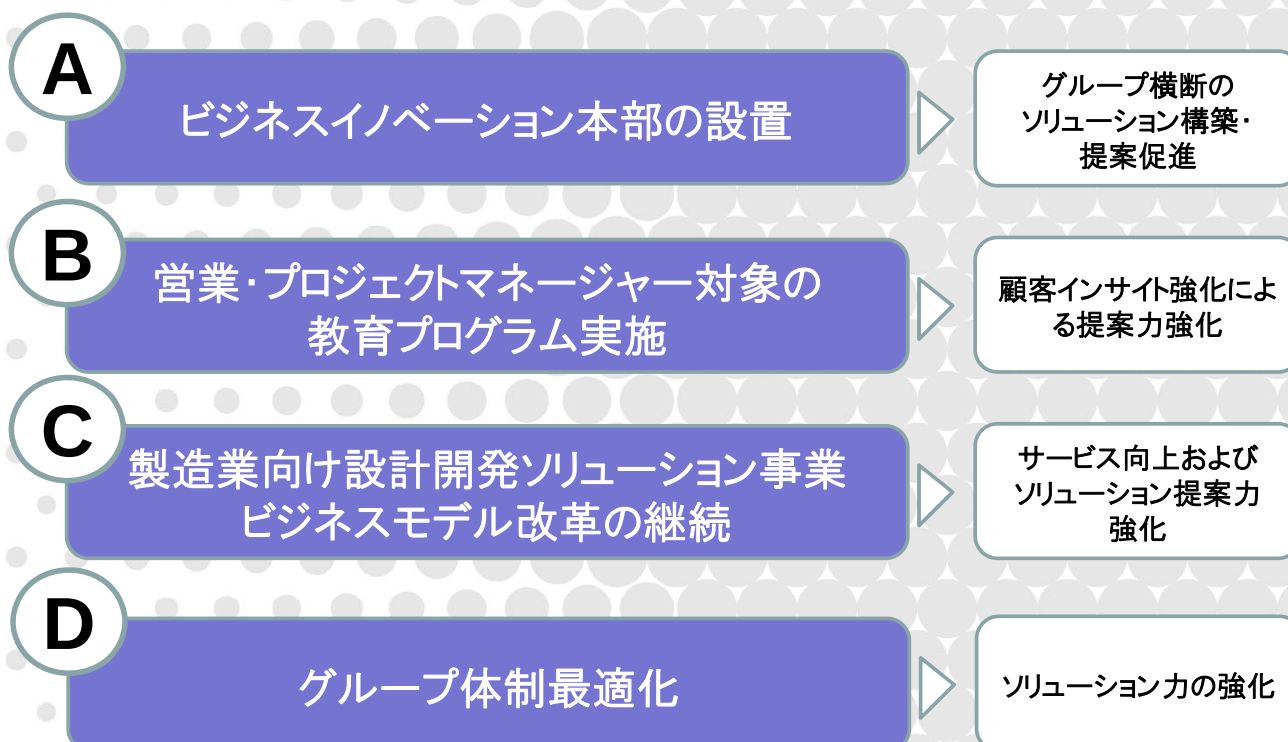
- 企業の競争力強化に向けた戦略的IT投資の必要性への認識には変化はない。
- 景況感の改善に伴い、企業の攻め手である戦略的IT投資は回復に向かう。

競争力強化・成長のための
施策推進

2010年3月期主要施策



施策1. 営業力・提案力の強化



施策2. 研究開発・製品開発の継続推進

	2009年3月期	2010年3月期(予定)	前期比
経費性R&D	1,209百万円	1,498百万円	123.9%
資産性R&D	521百万円	852百万円	163.5%
合計	1,730百万円 売上高比率 2.3%	2,350百万円 売上高比率 3.5%	135.8%

A

ソフトウェア製品開発(新規・機能強化)

B

事業化に向けたソフトウェア商品調査

C

先進顧客ビジネス動向調査研究
先進技術研究(新サービス・新アプリケーションへの適用検証)

施策3. 運用保守サービス事業の強化

A

ISIDアドバンスアウトソーシング
(2009年3月設立)への事業集約

B

グループ会社協業およびISID-AO独自営業による
新規案件獲得強化

C

業務提携およびM&Aによる成長促進

施策4. コスト構造の改善

A

オフショア開発の推進

B

グループの業務プロセス標準化・共通化による
業務効率向上

C

グループ体制最適化による
管理間接部門効率化

施策5. 人材力の強化

A

グループ共通ITスキル標準の運用

a

人材のダイナミックな
グループ間異動



グループ内最適人員配置

b

戦略的人材開発



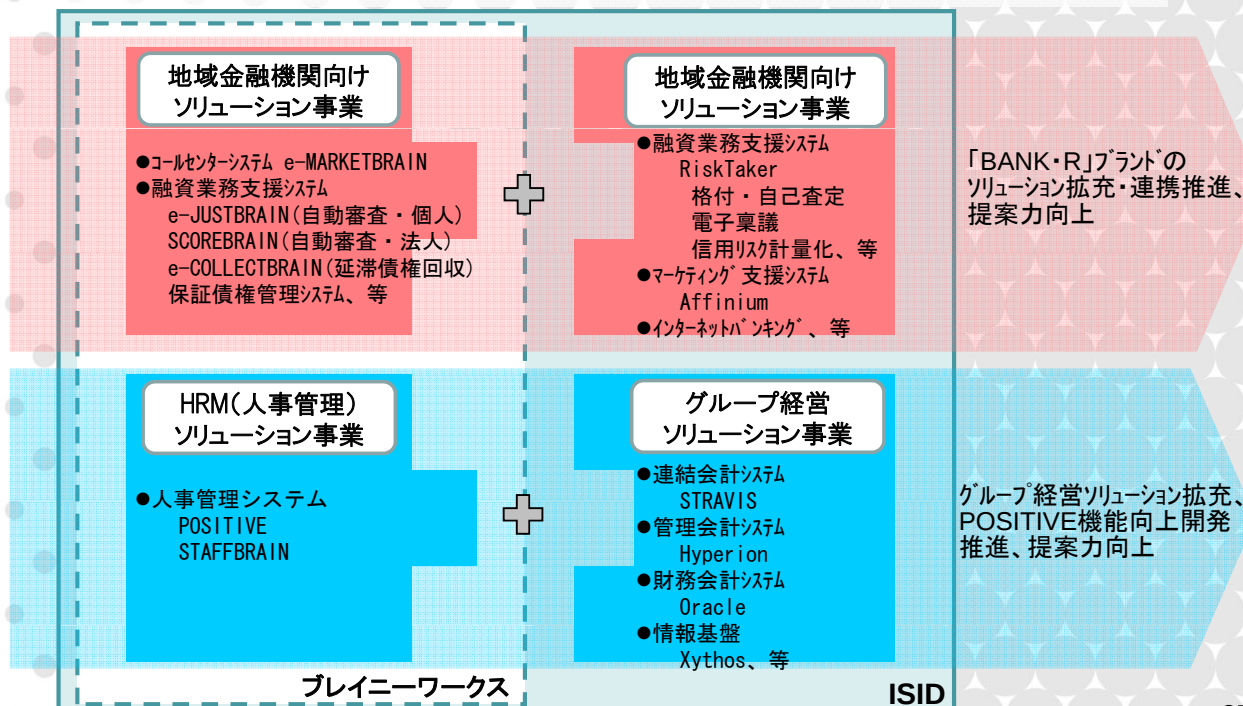
戦略遂行に必要な
スキル人材の拡充

施策6. グループ体制の最適化(1)

A

ブレインワークスの吸収合併

- ブレインワークスの主力2事業とiSiD事業との統合によりさらなる競争力強化を目指す。



COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

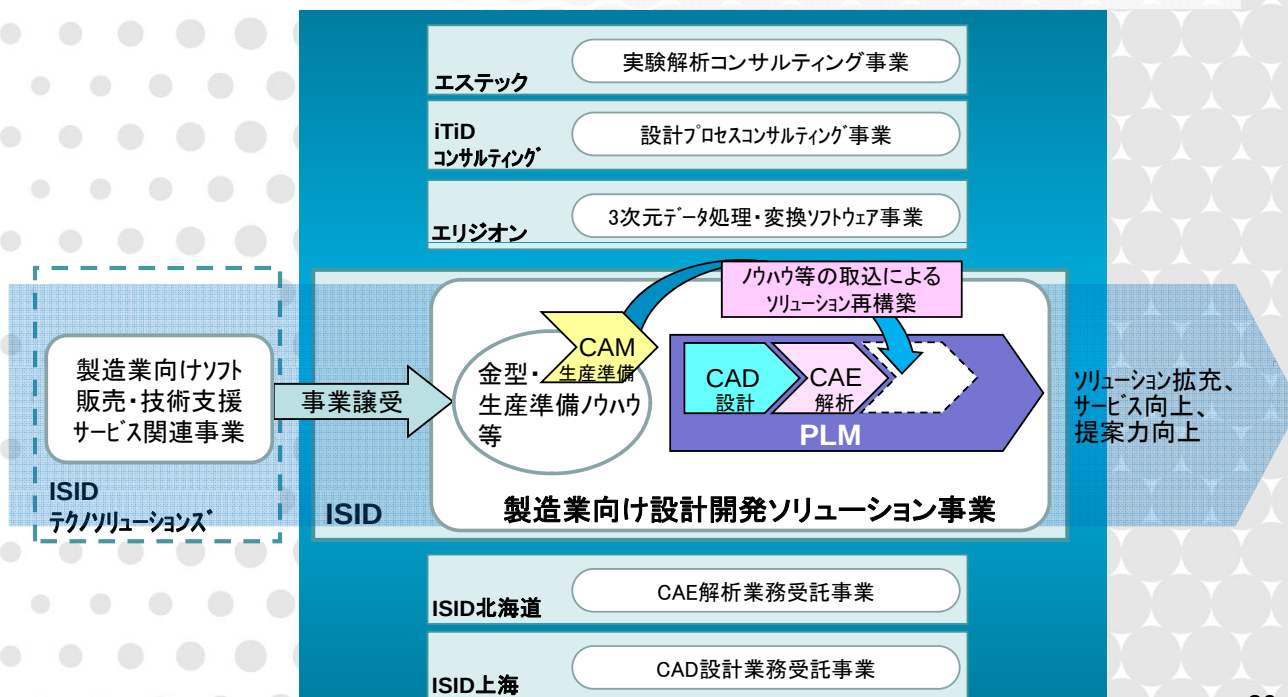
35

施策6. グループ体制の最適化(2)

B

iSiDテクノソリューションズの事業譲受け

- iSiDテクノソリューションズの事業を譲受け、ソリューションの再構築による競争力の強化を目指す。



COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

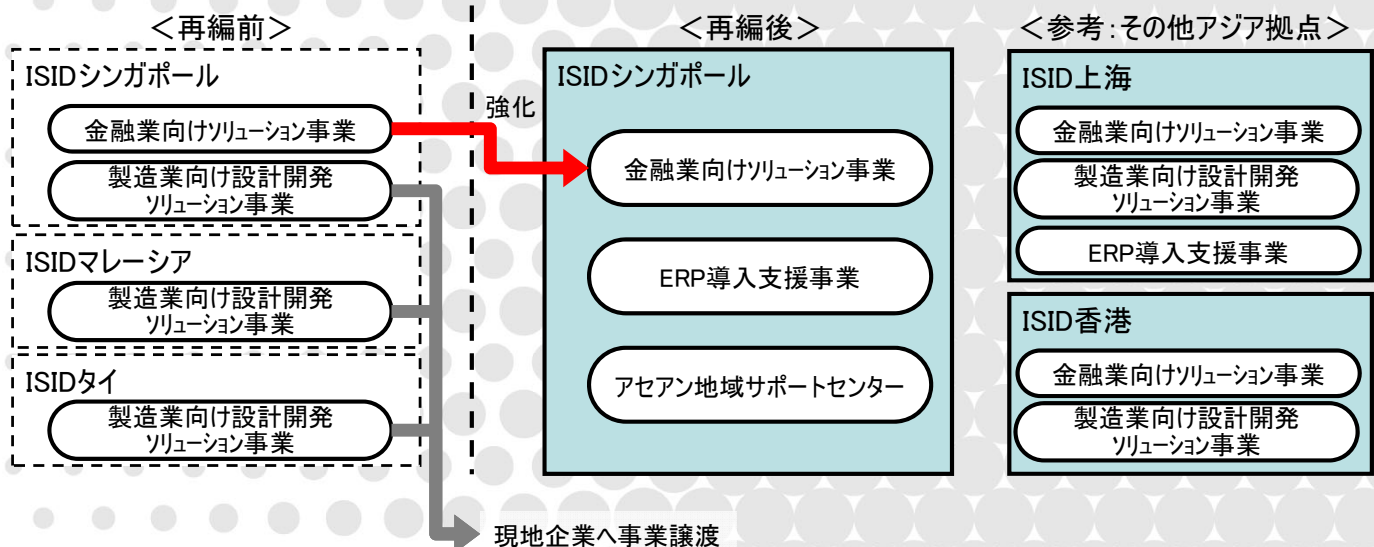
36

施策6. グループ体制の最適化(3)

C

アセアン地域の事業再編

- シンガポール現法は、金融業向けおよびERP導入支援事業の中核拠点へ。
- シンガポール、マレーシア、タイ各現法の製造業向け設計開発ソリューション事業は、現地企業へ譲渡。ただし、技術支援サービスは、iSiD(本社)が各現地企業と連携して提供。

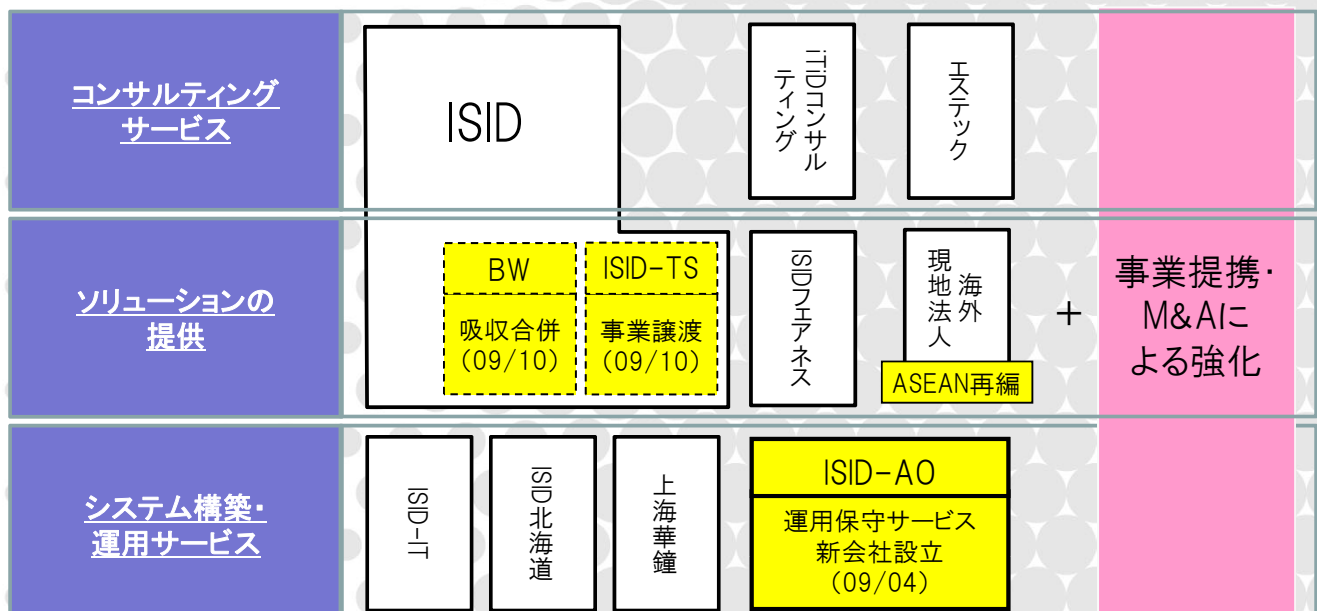


COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

37

再編後のグループ体制

- ✓ 顧客に対峙する元請機能はiSiDに集約
- ✓ iSiDから発注する二次請機能は別会社として効率化を図る
- ✓ コンサルティングサービスはブランディングおよび中立性の観点から、別会社として保持



COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

38

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。
従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。